

# 2024年3月期 決算説明会

2024年5月21日

株式会社ウィルグループ (東証プライム市場 6089)

## 目次

1. 2024年3月期 実績
2. 中期経営計画(WILL-being2026)の  
経営目標の修正について
3. 2025年3月期通期業績予想、配当予想

2024年3月期第1四半期連結会計期間より国内WORK事業、海外WORK事業の名称を、国内Working事業（略称：国内W）、海外Working事業（略称：海外W）にそれぞれ変更しています。

# 2024年3月期 実績

# 1

2024年3月期  
実績

国内W、海外Wとも売上収益は伸び悩む。

売上収益：	1382.2億円	前期比	△4.0%
営業利益：	45.2億円	前期比	△14.9%

国内Working  
事業

横ばい傾向が続くものの、建設技術者領域は順調に推移。

売上収益：	825.2億円	前期比	△1.9%
営業利益：	50.3億円	前期比	+13.2%

うち子会社売却益：20.6億円

海外Working  
事業

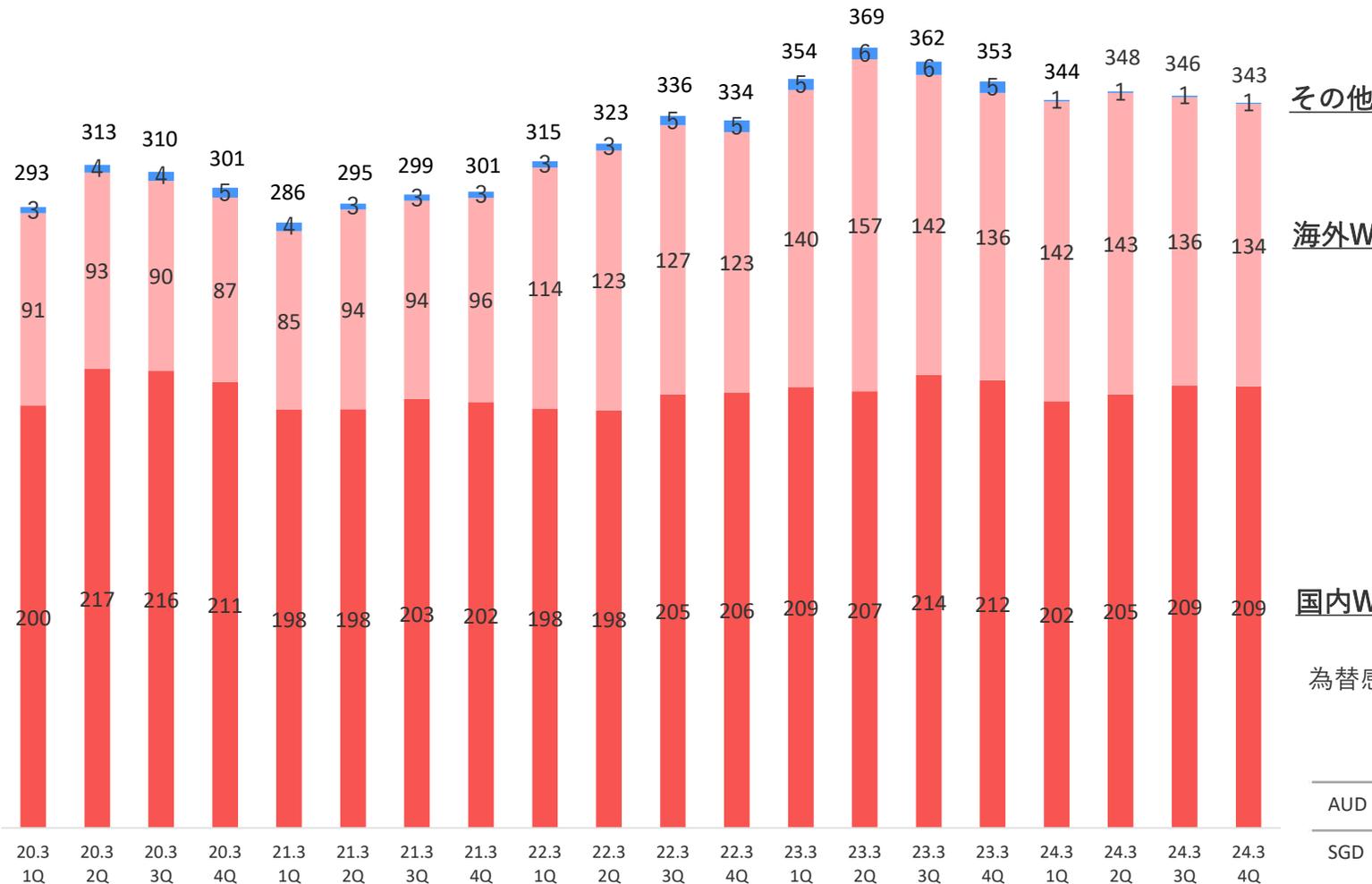
市場環境悪化により、派遣売上、紹介売上とも減少。

売上収益：	554.3億円	前期比	△3.7%
営業利益：	19.4億円	前期比	△42.9%

# 1. 2024年3月期 実績

## 連結売上収益の四半期推移

(億円)



4Qは、  
24.3期3Q比：△3億円  
(うち為替影響：+1億円)

国内Wは横ばい。  
海外Wは派遣、人材紹介  
売上とも減少。

国内W

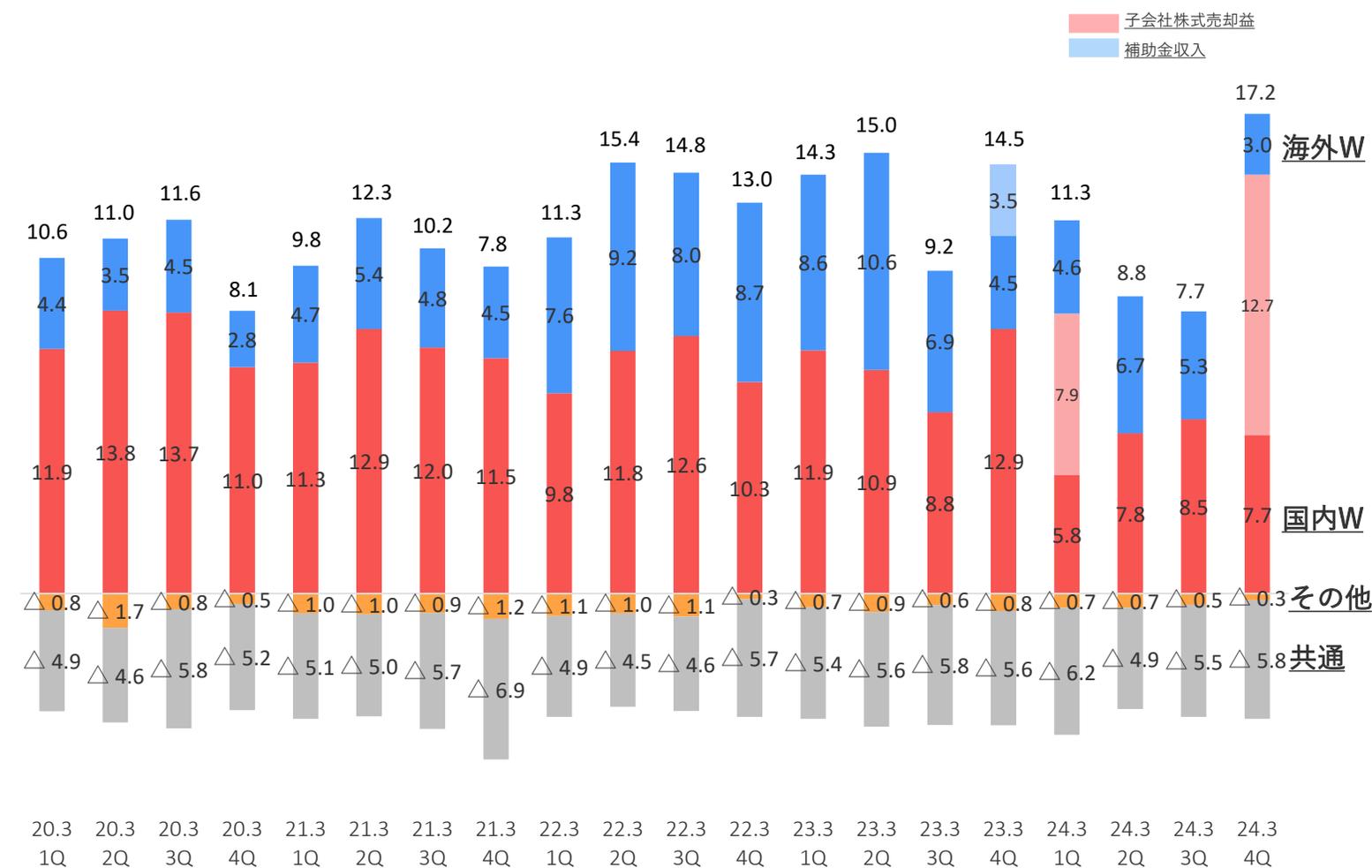
為替感応度

	計画 レート	4Q実績 レート	前年同期 レート	1円変動による影響額/年	
				売上収益	利益
AUD	86円	95円	93円	4.0億円	0.1億円
SGD	94円	107円	98円	1.0億円	0.0億円

# 1. 2024年3月期 実績

## 連結営業利益の四半期推移

(億円)

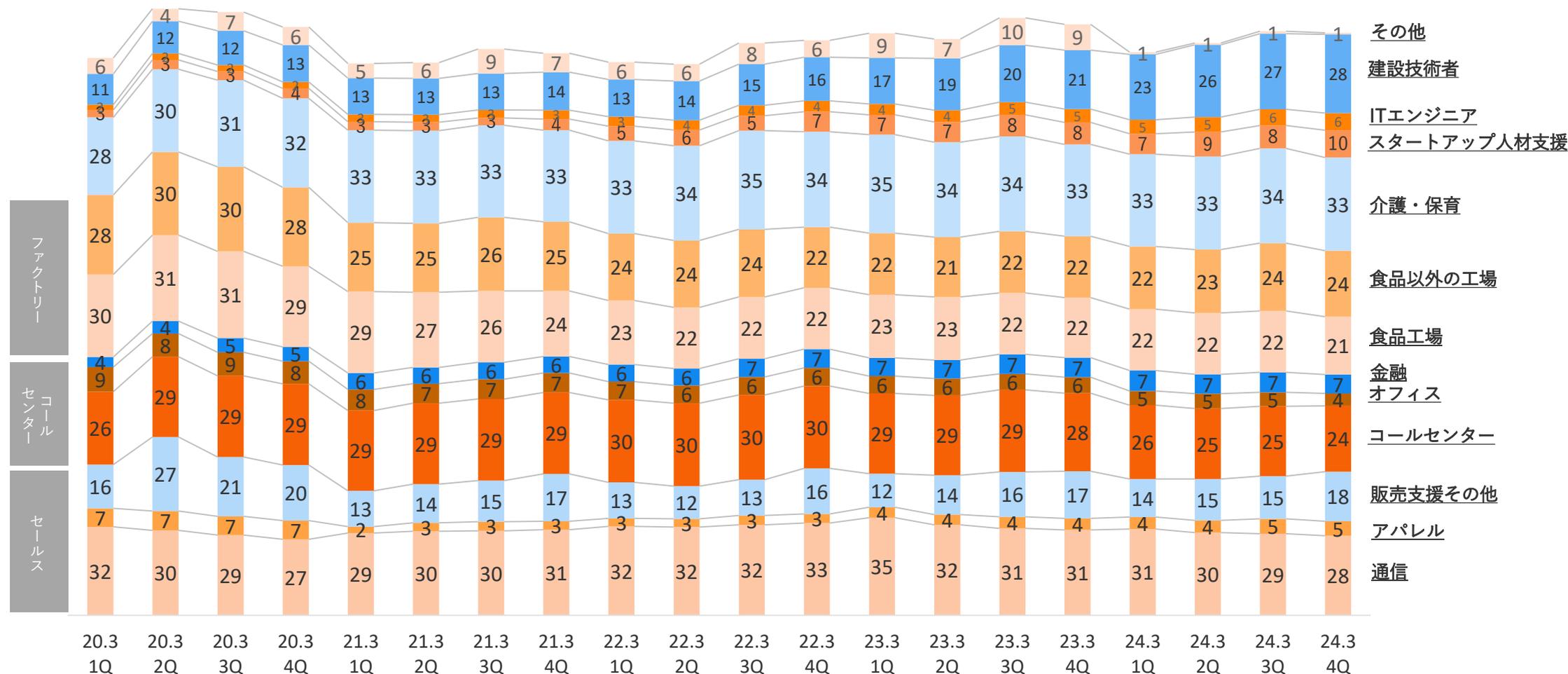


4Qは、  
24.3期3Q比：+9億円  
(うち為替影響：+0億円)

国内Wは、先行投資  
4Q：2.3億円実施（3Q  
比+1.1億円）の一方、  
子会社売却益12.7億円  
計上。  
海外Wは、人材紹介売  
上の減少により3Q比：  
△2.3億円。

建設技術者領域は堅調に推移。

(億円)



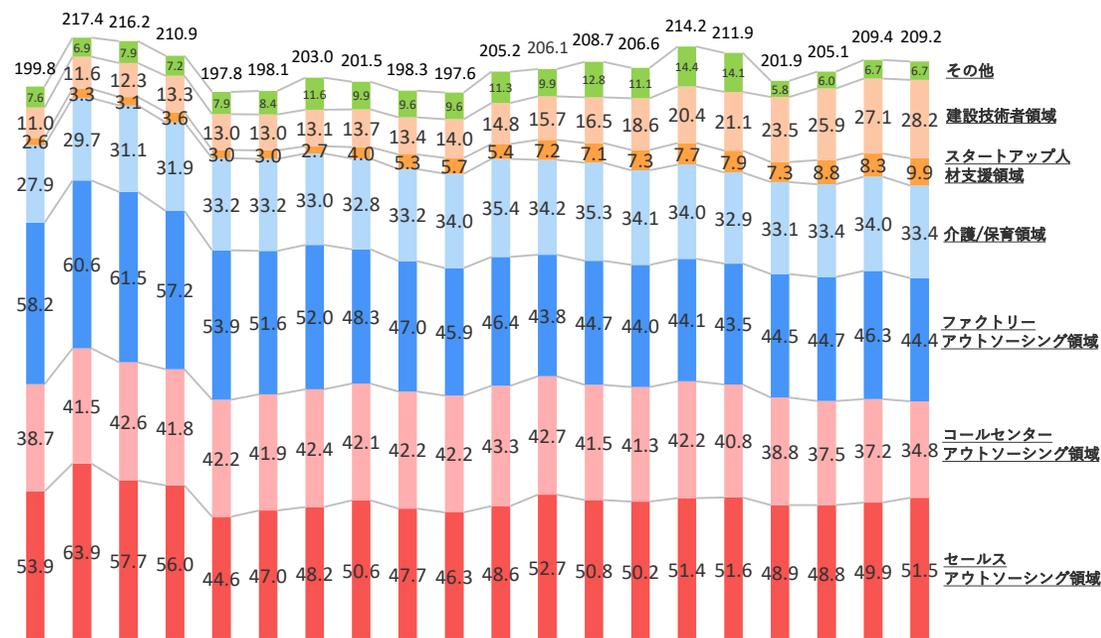
国内Working事業（領域別売上、営業利益）

売上収益の横ばい傾向が続くため、先行投資も取捨選択し販管費を抑制。

先行投資額8億円(1Q：1.6億円、2Q：3.0億円、3Q：1.2億円、4Q：2.3億円)の内訳

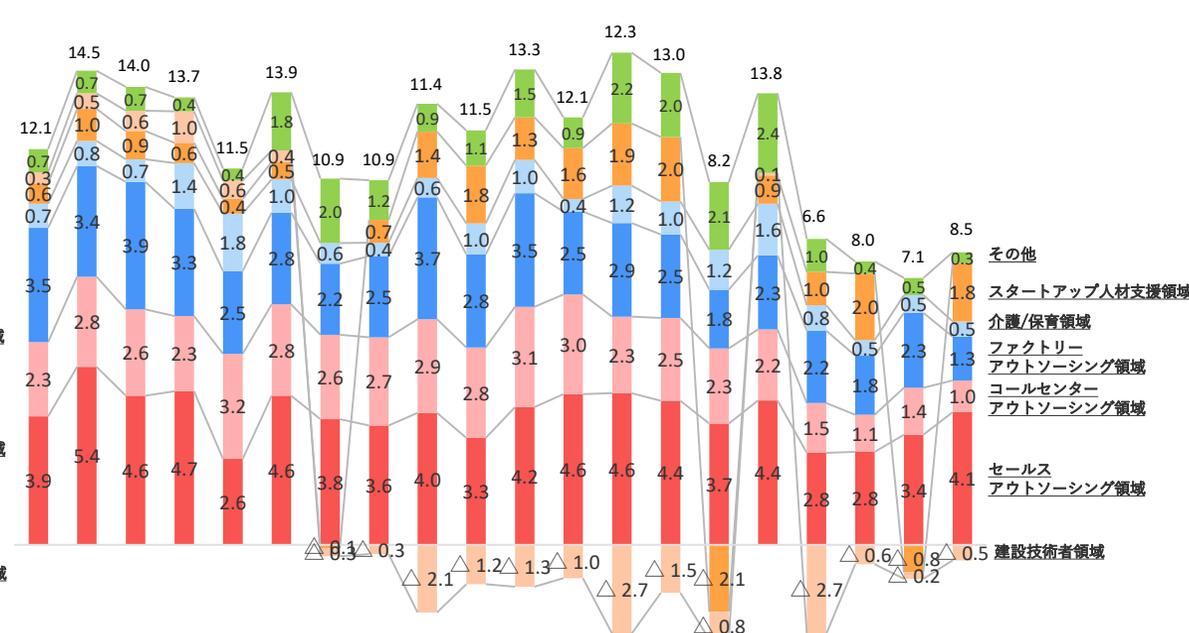
セールスアウトソーシング領域(1Q：0.2億円、2Q：0.0億円、3Q：0.0億円、4Q：0.0億円)、ファクトリーアウトソーシング領域(1Q：0.3億円、2Q：0.4億円、3Q：0.4億円、4Q：0.2億円)、介護領域(1Q：0.1億円、2Q：0.2億円、3Q：0.0億円、4Q：0.0億円)、建設技術者領域(1Q：1.0億円、2Q：1.1億円、3Q：0.8億円、4Q：1.3億円)、プロモーション費用(1Q：0.0億円、2Q：1.3億円、3Q：0.0億円、4Q：0.7億円)

-領域別売上（億円）-



20.3 20.3 20.3 20.3 21.3 21.3 21.3 21.3 22.3 22.3 22.3 22.3 23.3 23.3 23.3 23.3 24.3 24.3 24.3 24.3  
1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q

-領域別営業利益（億円）-



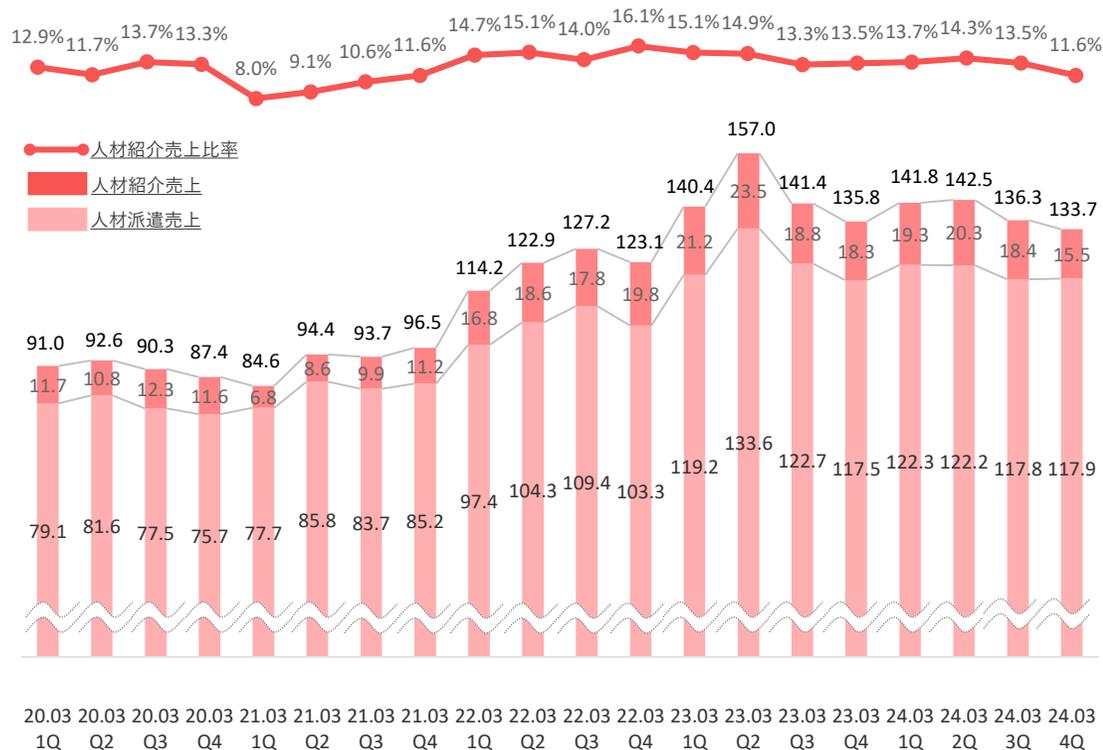
20.3 20.3 20.3 20.3 21.3 21.3 21.3 21.3 22.3 22.3 22.3 22.3 23.3 23.3 23.3 23.3 24.3 24.3 24.3 24.3  
1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q

※セグメント内の連結調整は含んでいません。

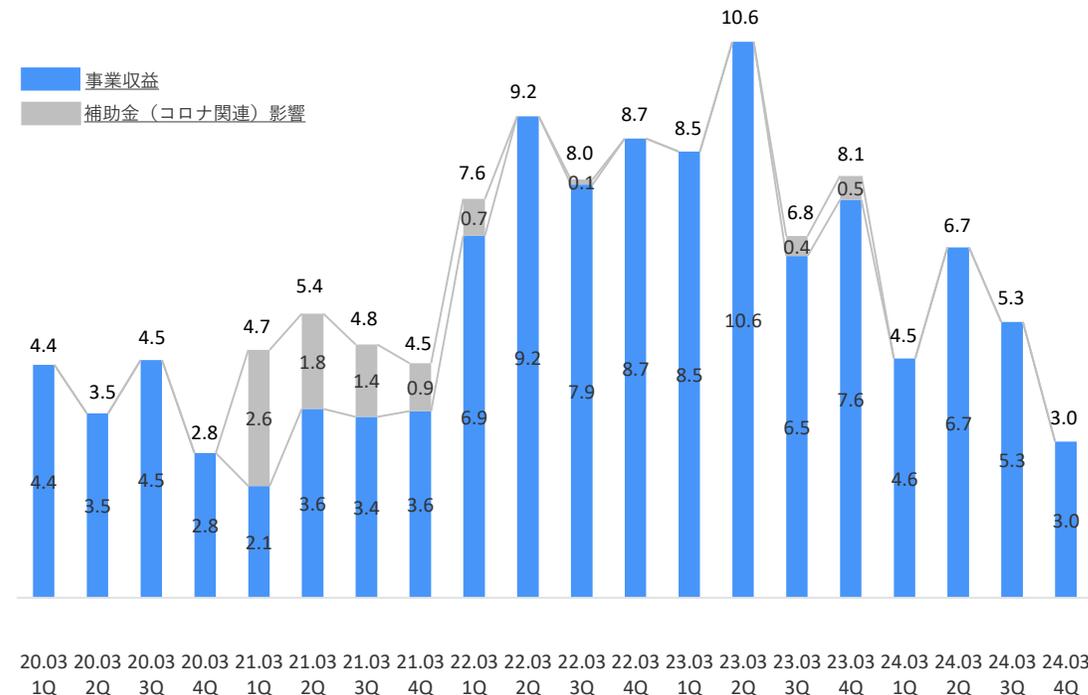
海外Working事業（契約形態別売上、営業利益推移）

マクロ経済悪化による停滞が継続。  
3Q比では、紹介市場の低迷に伴う一部顧客の採用抑制等により、紹介売上は減少したが、人材派遣売上は横ばいで推移。

-契約形態別売上（億円）-



-営業利益（億円）-

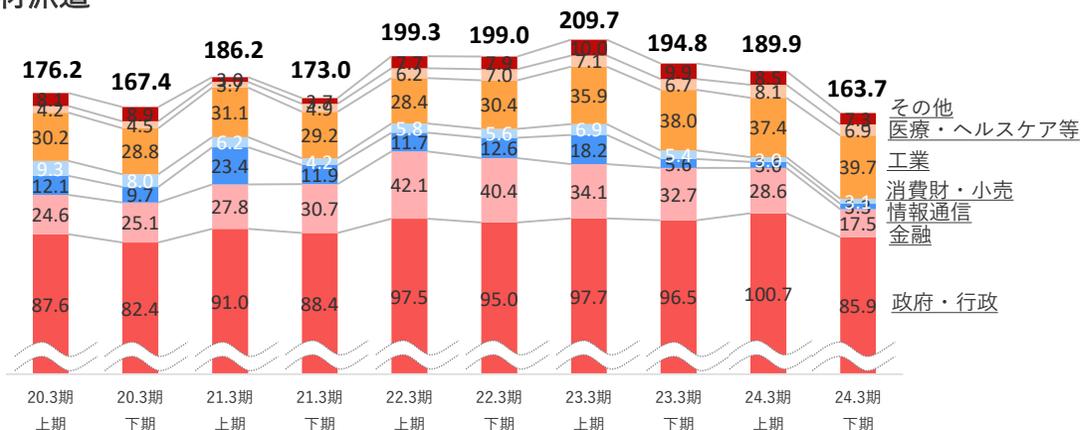


海外Working事業（分野別売上の内訳（半期））

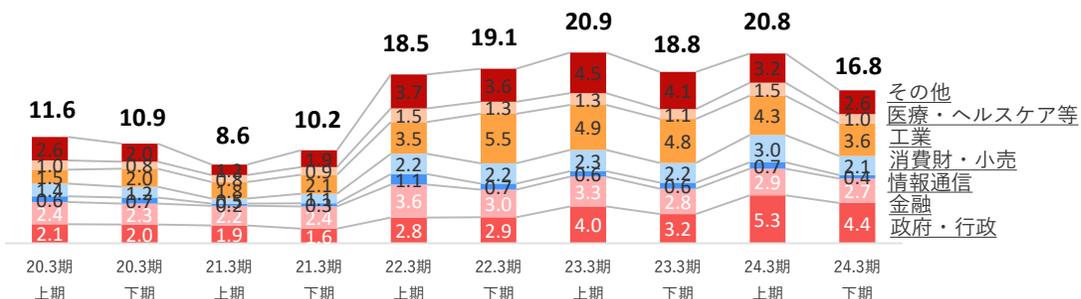
人材派遣は、オーストラリアの金融業界を中心に減少したものの、シンガポールの政府・行政は堅調に推移。

■オーストラリア

・人材派遣

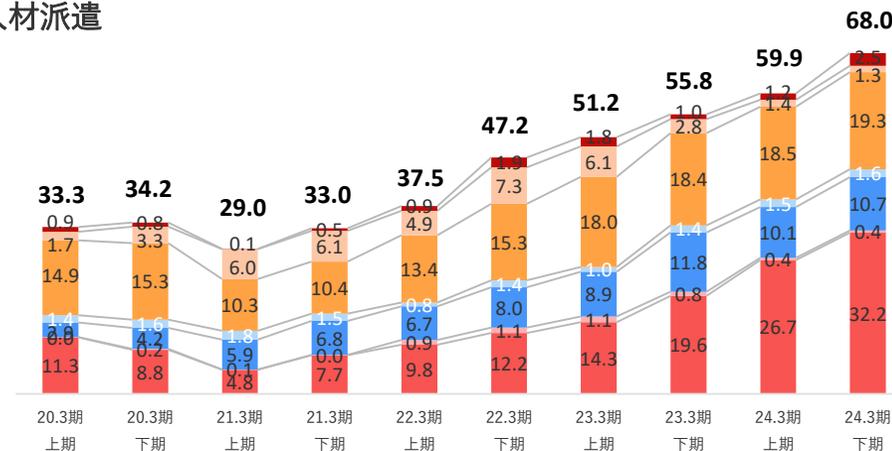


・人材紹介

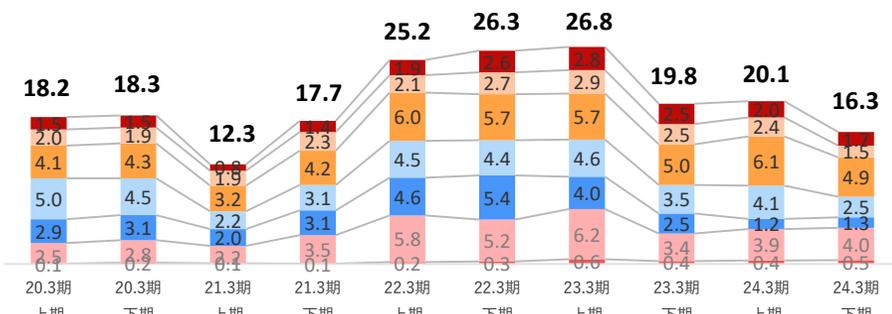


■シンガポール

・人材派遣



・人材紹介



(億円)

1シンガポールドル=98円、1オーストラリアドル=93円で換算しています。

建設技術者領域以外の正社員派遣、外国人管理受託の拡大は大幅未達であるものの、最も注力している建設技術者領域は順調に推移。

重点戦略			KPI				評価
			項目	通期計画	実績	計画比	
国内W	戦略Ⅰ	建設技術者領域の更なる成長、収益化を実現	年間採用人数	1,270名	1,424名	112.1%	○
			定着率	71.0%	71.2%	-	○
	戦略Ⅱ	国内W(建設技術者領域以外)の再成長	正社員派遣 稼働増加人数	600名 (期末稼働人数 3,052名)	350名 (期末稼働人数 2,802名)	58.3%	×
			外国人雇用 支援増加人数	1,100名 (期末管理受託人 数 2,850名)	591名 (期末管理受託人 数 2,341名)	53.7%	×
海外W	戦略Ⅲ	海外Wの安定した成長	人材紹介 売上比率	16.0%	11.6%	-	×

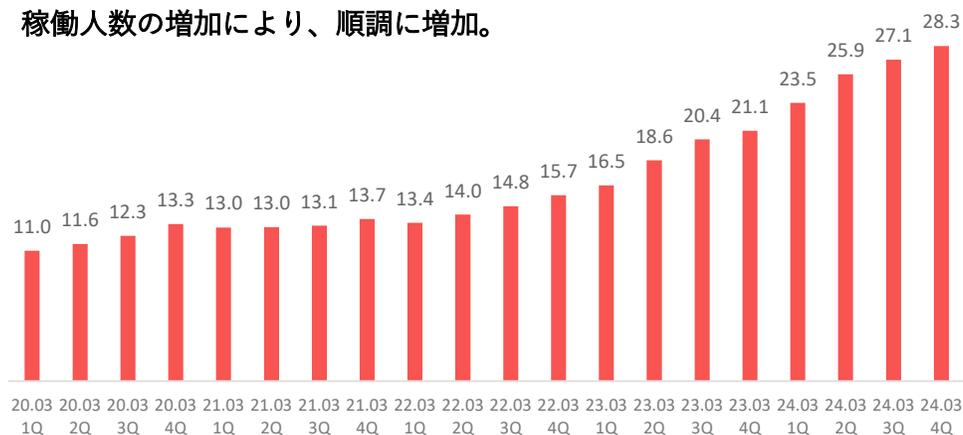
# 1. 2024年3月期 実績

## 建設技術者領域の進捗

### ■四半期別売上高の推移

単位：億円

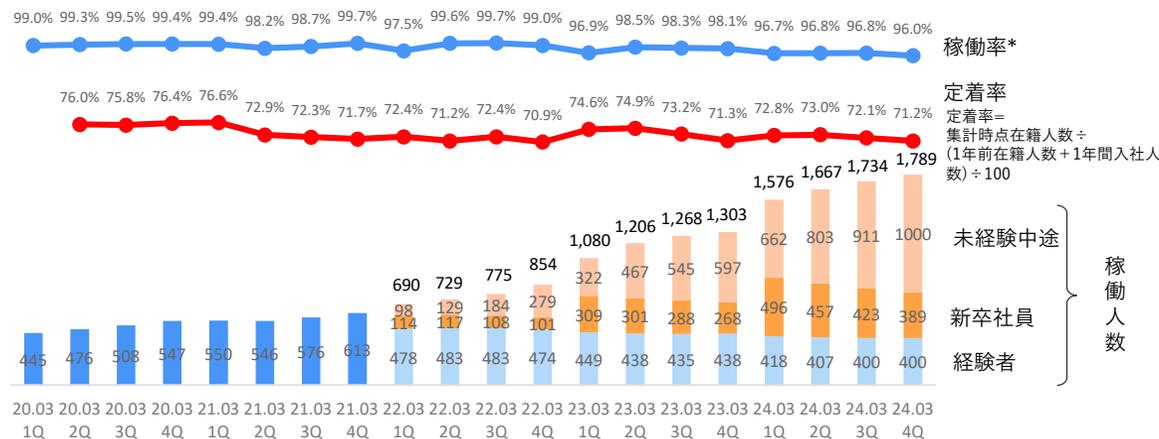
稼働人数の増加により、順調に増加。



### ■稼働人数、稼働率、定着率

単位：人

稼働率は高水準で推移。引き続き定着率向上に取り組む。



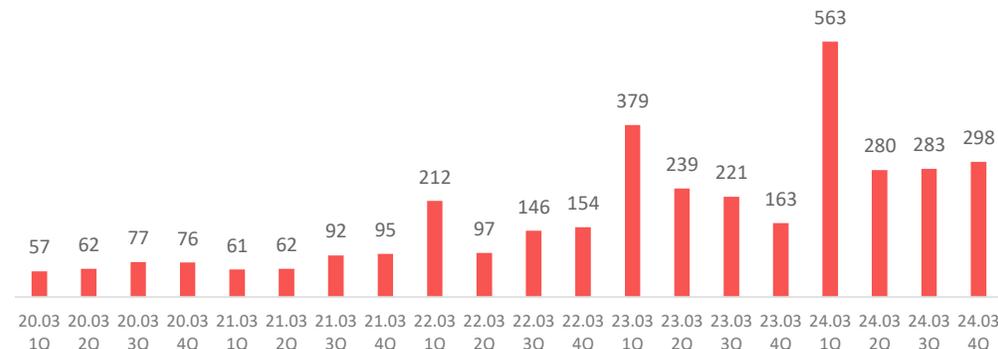
\*1Qの稼働率は、新卒研修期間の影響を除外した6月単月の稼働率です

### ■採用人数

単位：人

当期累計で1,424名を採用し、通期目標1,270名を達成。(計画比：112.1%)

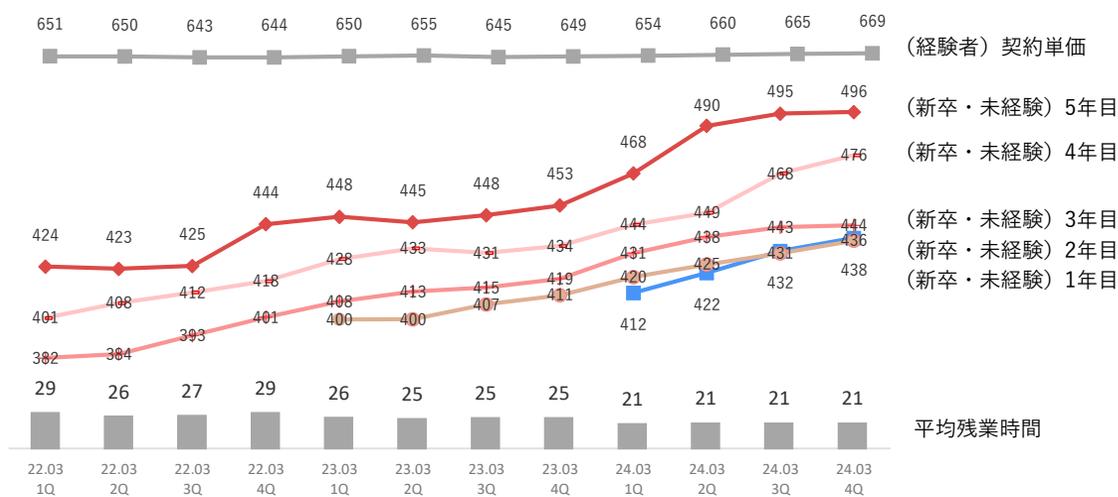
\*1Qは、新卒採用(前期：236名、当期:260名)を含む。



### ■平均契約単価、平均残業時間(月間)

単位：時間、千円

新卒・未経験の平均契約単価は、顧客とのチャージアップ交渉等により5%/年上昇。また、新規決定時の交渉に注力したことで、1年目の平均単価が上昇。



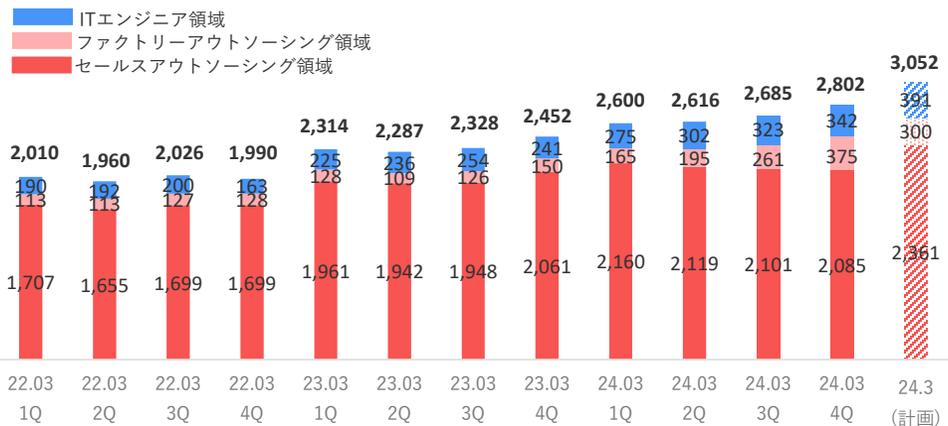
# 1. 2024年3月期 実績

## 正社員派遣、外国人雇用管理受託の進捗

### ■正社員派遣稼働人数

単位：人

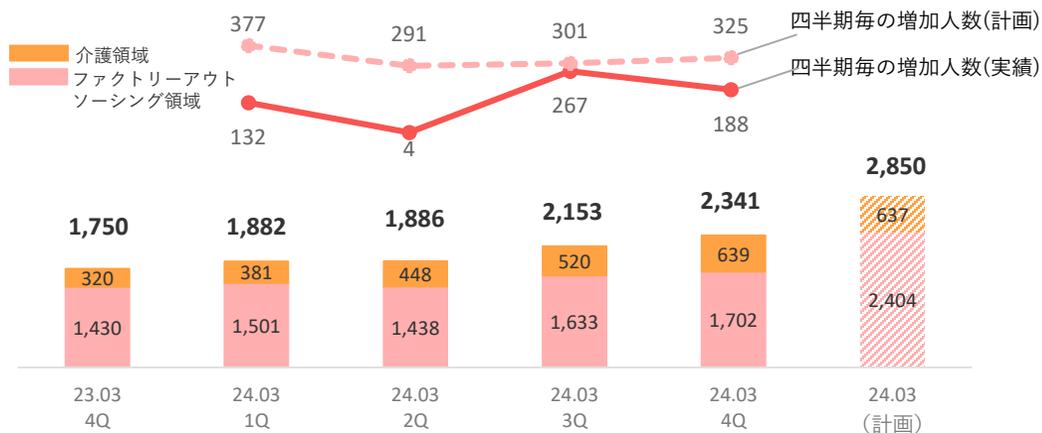
セールスアウトソーシング領域の中途採用が伸び悩んだことで、計画未達。



### ■外国人管理受託人数

単位：人

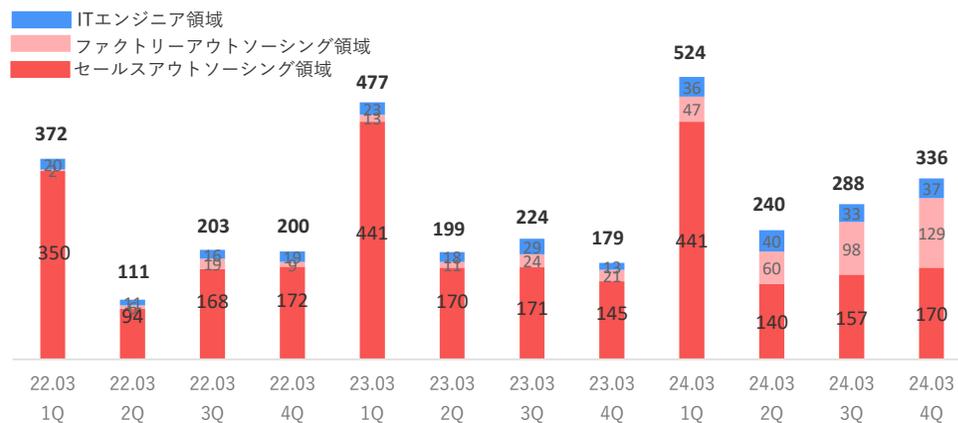
介護領域は順調に進捗。ファクトリー領域は上期の遅れにより計画未達ではあるものの、徐々に回復傾向。



### ■正社員派遣採用人数

単位：人

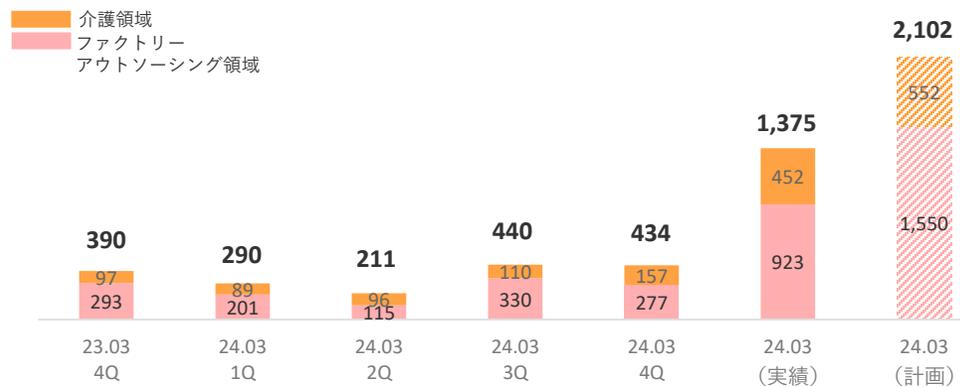
ファクトリーアウトソーシング、ITエンジニア領域の採用は順調。  
\*1Qは、セールスアウトソーシング領域の新卒採用280名を含む。



### ■新規外国人管理受託人数

単位：人

企業からの受注数は順調に進捗しているものの、積み上げが出来ず。成約率が高い海外人材の受注や、集客がしやすい勤務地や給与条件など、質の高い受注獲得に取り組む。



## 「WILLOF（ウィルオブ）」プロモーションの成果

国内Working事業で展開する「WILLOF（ウィルオブ）」のブランドプロモーションとして、タレントを起用した地上波TVCMを関西・中京・福岡・沖縄エリアで実施。併せて、YouTube等のインターネット広告配信を実施。



ウィルオブの認知率

約**340%UP**

※放映地域20~59歳男女の助成想起率

「ウィルオブ」指名検索数（月）

約**230%UP**

ウィルオブの利用意向度

約**450%UP**

※転職意向のある放送地域20~59歳男女

# 中期経営計画(WILL-being2026)の 経営目標の修正について

# 2

## 2.中期経営計画(WILL-being2026)の経営目標の修正について

### 中期経営計画 (WILL-being 2026) の経営目標の修正



#### 基本方針

#### 国内Wの再成長 (修正なし)

		2023年3月期実績	2024年3月期実績	2026年3月期目標 (修正前)	2026年3月期目標 (修正後)
目標	売上収益 *新規M&Aは含めず ※1	1,439億円	1,382億円	1,700億円	—
	営業利益 (営業利益率) ※1	53.1億円 (3.7%)	45.2億円 (3.3%)	65.0億円 (3.8%)	—
KPI	採用人数/年 (建設技術者領域)	1,022名	1,424名	2,000名	1,500名
	定着率 (建設技術者領域)	71.3%	71.2%	73.0%	71.5%
	正社員派遣稼働人数 (国内W (建設技術者領域除く)) ※2	2,791名	3,254名	4,700名	3,500名
	外国人雇用支援人数 (国内W (建設技術者領域除く))	1,750名	2,341名	6,800名	3,500名
	人材紹介売上比率 (海外W) ※1	13.5%	11.6%	17.0%	—

※1 修正後の目標のうち「—」としている項目については、四半期ごとの実績を開示します。

※2 正社員派遣稼働人数(国内W(建設技術者領域を除く))には、セールスアウトソーシング領域、ファクトリーアウトソーシング領域、ITエンジニア領域に加え、コールセンターアウトソーシング領域、介護領域を含めて表示しています。

## 2.中期経営計画(WILL-being2026)の経営目標の修正について

### 中期経営計画（WILL-being 2026） 初年度の状況と経営目標修正の背景

(本中計 初年度の状況)

戦略	国内W	戦略Ⅰ	<b>建設技術者領域の更なる成長、収益化を実現</b> <ul style="list-style-type: none"><li>新卒を含む未経験採用が順調、FY2025の黒字化は確実</li></ul> 
		戦略Ⅱ	<b>国内W（建設技術者領域以外）の再成長</b> <ul style="list-style-type: none"><li>正社員派遣人数の積み上げに苦戦</li><li>外国人管理受託は計画に遅れも徐々に回復傾向</li></ul> 
	海外W	戦略Ⅲ	<b>海外Wの安定した成長</b> <ul style="list-style-type: none"><li>人材派遣、人材紹介ともに、市況の低迷が長期化</li></ul> 
	国内W		(計画外のアクション) <ul style="list-style-type: none"><li>事業ポートフォリオの見直しのため、上場子会社株式を売却</li><li>次期以降、当該子会社の利益がはく落</li></ul>

(本中計の経営目標修正の背景)

本中計策定時点で  
想定していた  
前提条件から  
かい離れた状態に

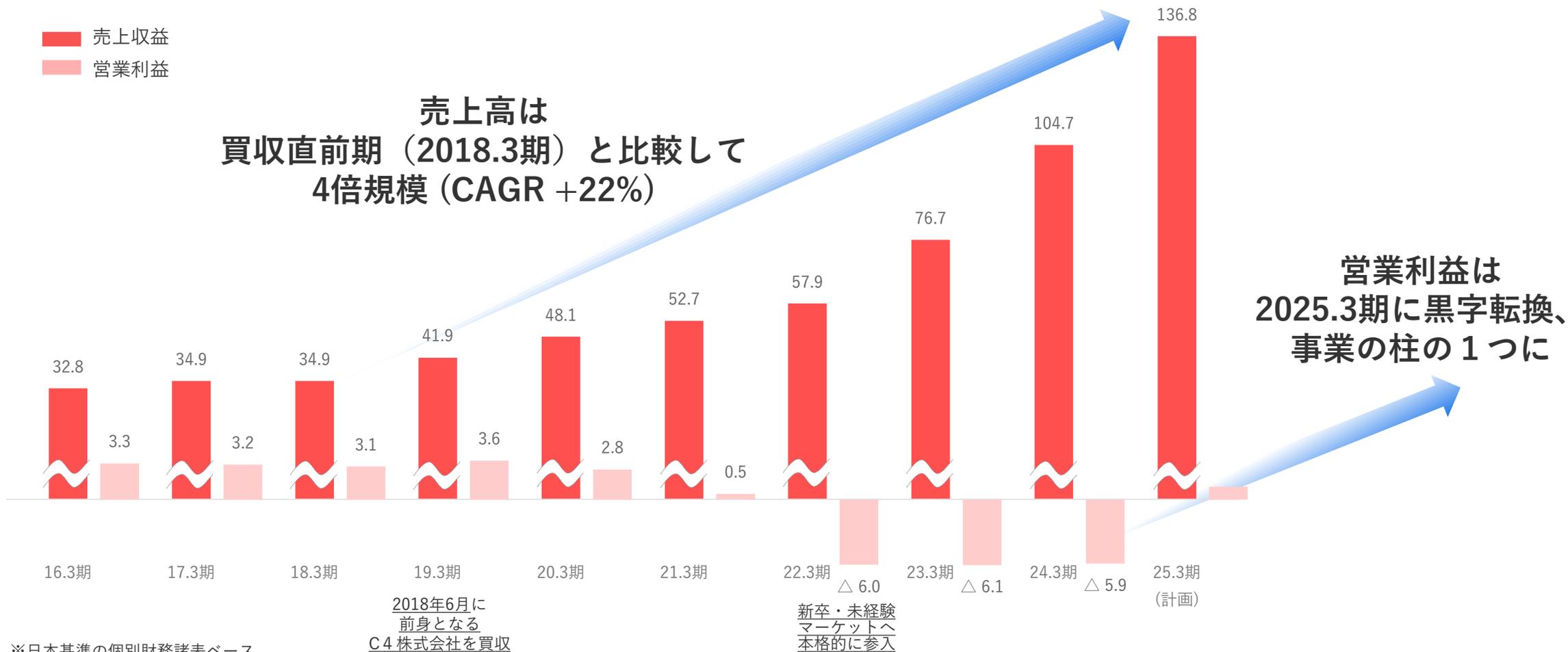
FY2026の経営目標の  
達成に拘るあまり、持続的な成  
長のための経営判断が阻害され  
ることを阻止する

戦略の達成を確実にするため、  
FY2026の業績目標を取り下げ、  
KPIを合理的な水準に修正

**戦略の推進を最大化させる  
マネジメントにシフト**

**そして、FY2026以降の飛躍  
フェーズの実現を確かなものに**

株式会社ウィルオブ・コンストラクションの業績推移

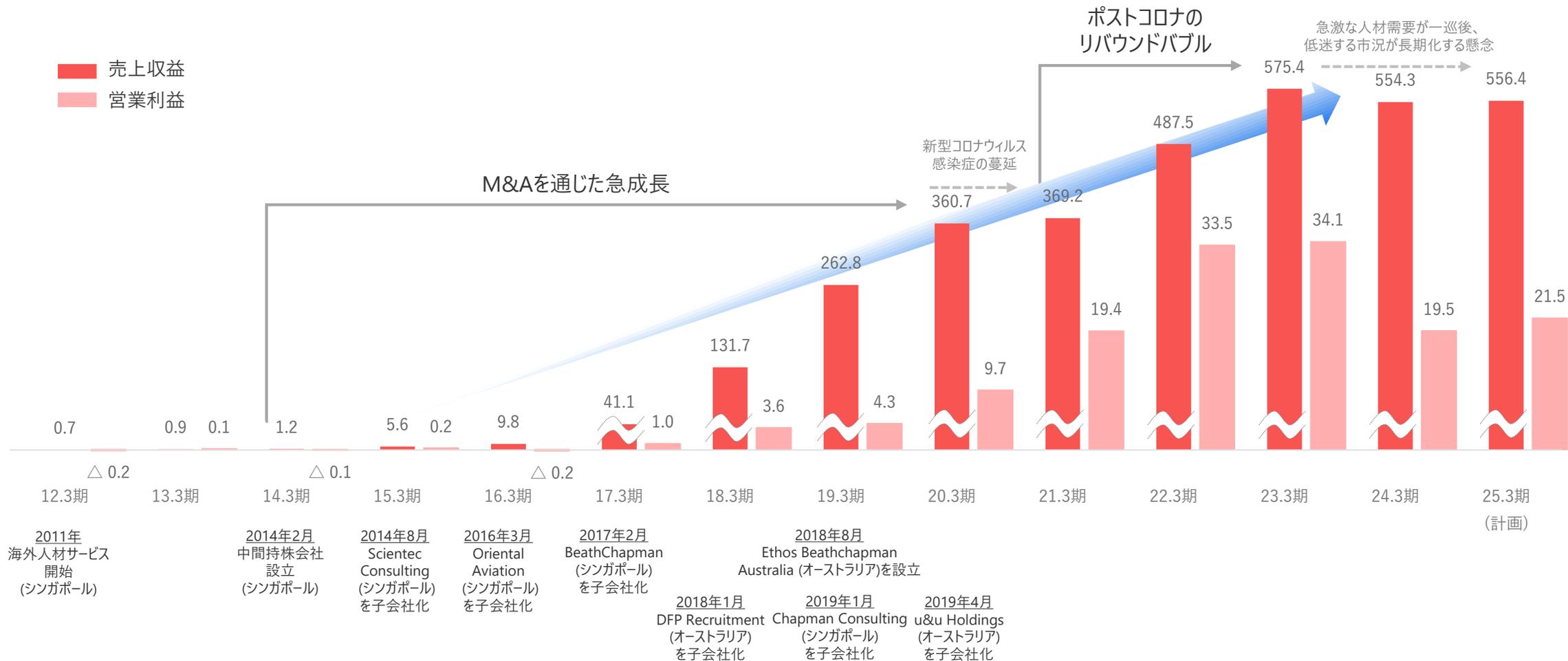


※日本基準の個別財務諸表ベース

## 2.中期経営計画(WILL-being2026)の経営目標の修正について

### 海外Working事業の業績推移

海外Working事業の売上収益は、  
 足もとでは、ポストコロナの急激な人材需要一巡後、市況悪化の影響を受けるも、  
 本格的なM&Aを開始した2015年3月期を基準としたCAGRは+67%の水準。



# 2025年3月期業績予想、配当予想

# 3

### 3. 2025年3月期業績予想、配当予想

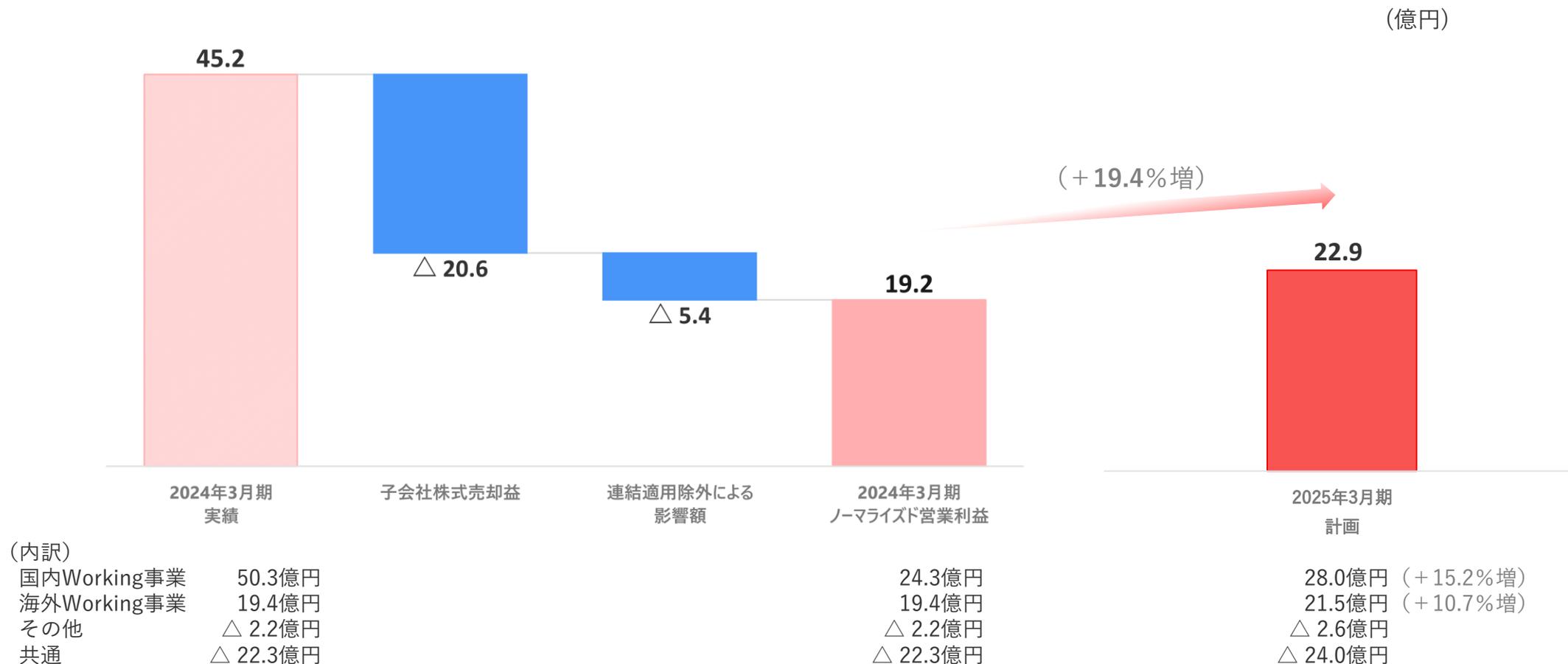
#### 2025年3月期通期連結業績予想

(億円)	2024.3月期	2025.3月期 (業績予想)	前期	
			増減	増減率
売上収益	1,382.2	1,404.0	+21.7	+1.6%
うち国内Working事業	825.2	845.0	+19.7	+2.4%
うち海外Working事業	554.3	556.3	+2.0	+0.4%
うちその他	2.6	2.6	△0.0	△2.0%
売上総利益	304.4	304.7	+0.3	+0.1%
売上総利益率	22.0%	21.7%	△0.3pt	-
営業利益	45.2	22.9	△22.3	△49.4%
営業利益率	3.3%	1.6%	△1.7pt	-
ノーマライズド営業利益	19.2	22.9	+3.7	+19.4%
ノーマライズド営業利益率	1.4%	1.6%	+0.2pt	-
うち国内Working事業	50.3	28.0	△22.3	△44.3%
うちノーマライズド国内Working事業	24.3	28.0	+3.7	+15.4%
うち海外Working事業	19.4	21.5	+2.0	+10.7%
うちその他	△2.2	△2.6	△0.4	-
うち調整額	△22.3	△24.0	△1.6	-
親会社の所有者に帰属する当期利益	27.7	16.4	△11.3	△41.0%
EBITDA	68.1	42.3	△25.7	△37.9%
為替レート			1円変動による影響額/年	
			売上収益	利益
オーストラリアドル	86円	91円	4.0億円	0.1億円
シンガポールドル	94円	104円	1.0億円	0.0億円

### 3. 2025年3月期業績予想、配当予想

#### 2025年3月期通期連結業績予想（ノーマライズド営業利益比較）

2024年3月期実績に含まれる一過性の利益等を除外したノーマライズド営業利益と比較して、  
+19.4%の増益を予想。



2025年3月期の配当予想は、株主還元方針に基づき、前期実績（1株当たり44円）を据え置く。結果として総還元性向は61.7%の見通し。

#### 前中計(21.3期-23.3期)の株主還元方針

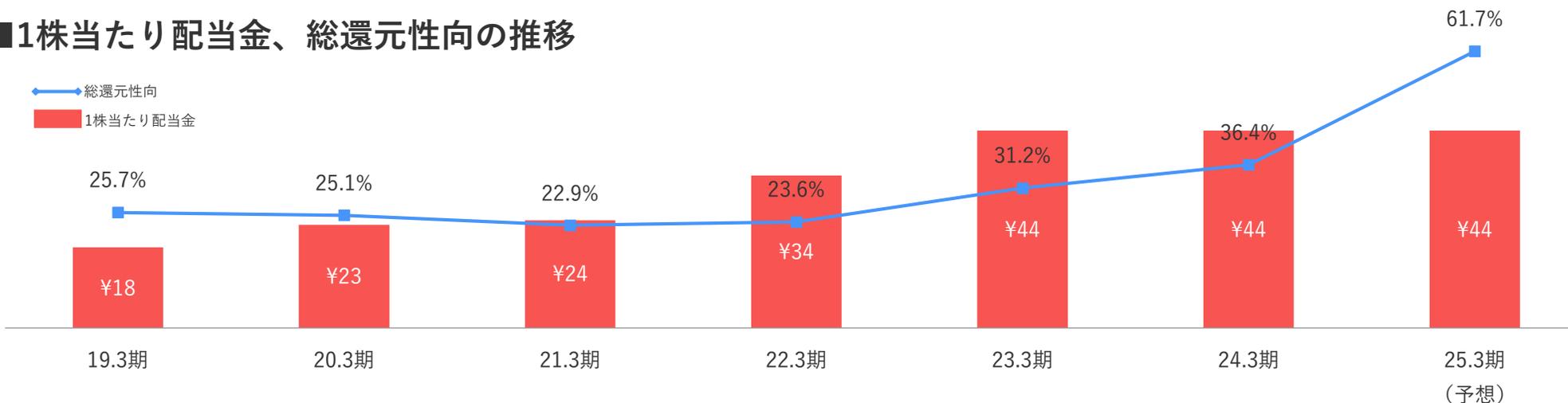
- ・ 総還元性向30%を目安  
(対期首業績予想)



#### 中計(24.3期-26.3期)の株主還元方針

- ・ **累進配当**  
減配を原則実施せず、増配または維持
- ・ **総還元性向30%以上**  
期中の業績進捗に応じ機動的な自己株式取得を都度検討

#### ■ 1株当たり配当金、総還元性向の推移



本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。



■ IRに関するお問い合わせ先

株式会社ウィルグループ カンパニーセクレタリー室IRグループ

TEL : 03-6859-8880

Mail : ir@willgroup.co.jp

■ 「IRメール配信サービス」のご案内

当社では、IRに関するメール配信を行っています。適時開示情報やニュースリリース等最新のIR情報を素早くお届けしていますので、ぜひご登録ください。

IRメール配信登録▶

